

令和8年2月定例会

予算決算委員会資料
(都市整備部)

まちなか公共空間活用推進経費について

1 概要

中心市街地における来街者の回遊性や滞在快適性の向上を図るため、秋田市中心市街地活性化協議会と連携して、公共空間の多様な活用の可能性について検証する社会実験を実施する。

2 事業費

負担金 500千円

※本市および秋田商工会議所が500千円ずつ負担し、秋田市中心市街地活性化協議会の事業（事業費1,000千円）として実施する。

〔内訳：椅子等の備品購入費、協力団体への謝礼など〕

3 社会実験の内容等

(1) 実施内容

- ・千秋公園東側・西側ポケットパークに、日よけ、リクライニングチェア、キッチンカーなどを設置し、訪れた人が思い思いの時間を過ごせるよう、快適性の向上や交流の場の創出を通して滞在時間の増加を図る。
- ・秋田駅前歩道（三宅ビル隣地）で、演奏や歌などの路上パフォーマンスの機会を提供し、道路空間の新たな活用の選択肢を増やすことで来街者の増加を図る。

(2) 実施場所

①千秋公園東側・西側ポケットパーク



※千秋公園東側ポケットパーク

②秋田駅前歩道（三宅ビル隣地）



4 検証方法

社会実験の参加者や取組の様子を見た人などを対象に、アンケートを実施する。

5 スケジュール

令和8年5月下旬

社会実験の実施（1か月程度の予定）

7月以降

社会実験に参画した市民や関係団体等と有効性や課題などを検証し、今後の継続的な取組の検討につなげる。

マイタウン・バス運行事業について

1 マイタウン・バス北部線における見直し

郊外部における路線バスの廃止代替交通として運行しているマイタウン・バスのうち、北部線について、利便性向上を図るため、令和8年10月から運行形態の見直しを予定しているものである。

2 マイタウン・バス北部線の現状

運行態様等	ジャンボタクシー等による固定経路での予約制運行（4路線7系統）、平日1日あたり最大59便、土日祝1日あたり最大23便
利用者数	約16千人（R6.10～R7.9、近年は微減傾向）
運賃	ゾーン制運賃（最小200円、最大510円）
運行車両	ジャンボタクシー5台（うち予備車両1台） 普通タクシー（外旭川笹岡循環コース）
運行事業者	キングタクシー株式会社

3 現状の課題

- ・バスを利用した地域内移動のニーズに対応できていない。（金足地区）
- ・廃止代替交通としてルートを継承しているため、路線のなかったエリアへのサービス提供が不足している。（飯島地区）
- ・予約制運行の配車効率に改善の余地があり、運行体制の見直しが必要である。
- ・路線までの徒歩移動が高齢者などにとって負担となっている。

4 運行形態の見直し内容（案）

利便性向上を図るため、A I オンデマンド交通に切替え、経路や時刻を定めず予約に応じた面的な運行を実証事業として実施する。また、新たな運送収入を確保するため、少量の貨物輸送を行おうとするものである。

なお、運行内容については地元住民との対話を重ね、随時見直しを行っていく。

運賃	現在の運賃体系に準じる
運行車両	ジャンボタクシー5台（うち予備車両1台）
バス停等	現在のバス停に加え、安全が確保されることを前提に柔軟に配置

※運行事業者については、令和7年度実施のプロポーザル方式で決定した現行事業者を継続する予定。

5 事業費

全体事業費301,371千円のうち、北部線に関する事業費は108,351千円
(内訳)

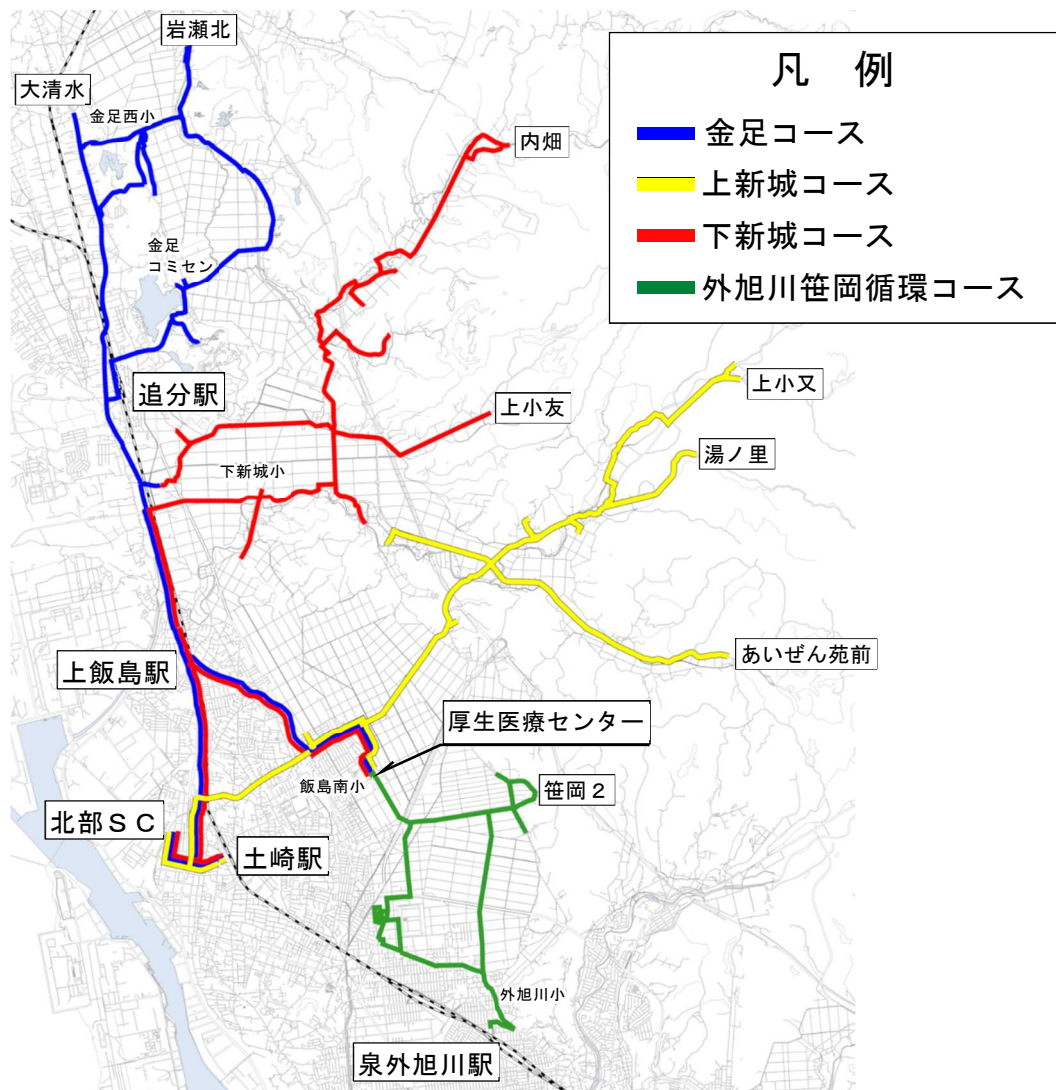
- ・ A I オンデマンドシステム導入経費 39,000千円
- ・ 運行経費負担額 69,351千円

※運行経費負担額は、経費から運送収入を差し引いた額である。

6 事業スケジュール (案)

令和8年5月	A I オンデマンドシステム事業者選定
6月	マイタウン・バス北部線運行協議会 (意見聴取) 秋田市地域公共交通協議会 (協議) 国土交通省運輸局への申請等
7月	地元説明会等の開催
10月	運行開始

【参考】北部線路線図



カレッジアカ・バス利用促進事業について

1 事業概要

高齢化や人口減少などの影響により利用者の減少が進む公共交通において、地域社会の将来を担う若年層の利用を促進し、持続可能な公共交通の実現を図るため、市内に住民票がある市内4年制大学の新1年生を対象に、2万円相当の交通ポイント*付きA k i C Aを配布する。

※秋田中央交通の路線バスで運賃の支払いのみに利用できるポイント
有効期限は最終利用日から1年間。コンビニ等では利用できない。

2 対象者および想定配布枚数

対象者：申請日時時点で市内に住民票がある新大学1年生（年齢は問わない）
想定年間配布枚数：1,650枚（市内大学生約7,000人のうち）

3 事業実施の流れ（次頁参照）

- (1) 周知：各大学の協力により、学生向けの情報配信ツール（メール等）を用いて、大学が申請に関する情報を学生に発信
- (2) 申請：スマート申請システムから、学生本人が市へ申請
必要書類（写真添付） 住民票（マイナンバーカード読取りも可）
学生証
- (3) 発行：市が交付を決定し、秋田中央交通でカードを発行
- (4) 交付：市が郵送で学生へカードを交付

4 事業費 令和8年度 41,906千円

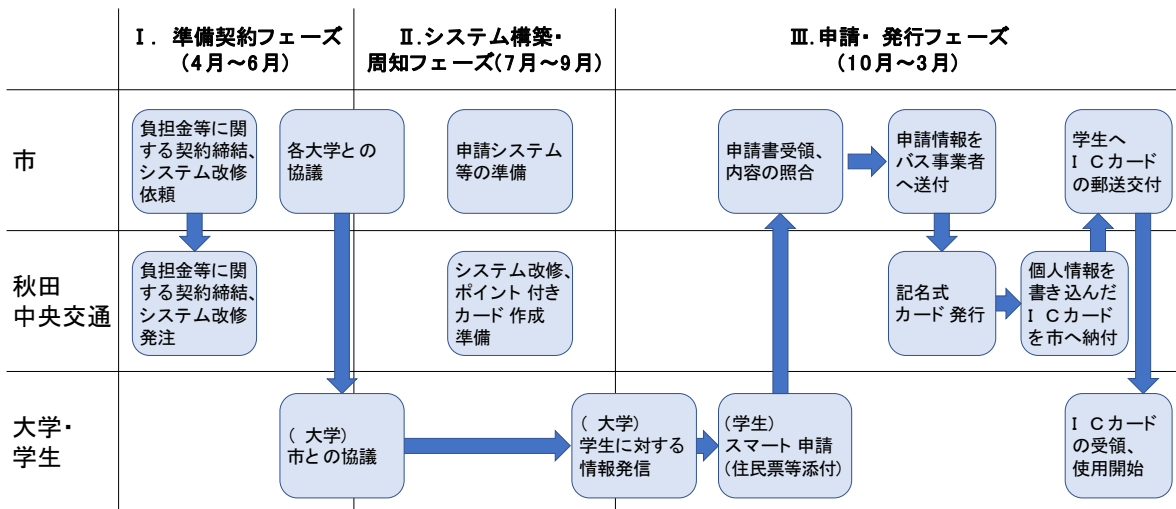
内訳

・交通ポイント付きICカード費用	33,825千円
・中央交通への負担金（システム改修等経費）	5,500千円
・事務経費	2,581千円

5 事業スケジュール（案）

令和8年4月	秋田中央交通との契約等締結 秋田中央交通のシステム改修（3～4か月程度）
10月	学生への周知、申請受付開始
以降随時	交付決定、カードの発行、送付
9年3月	令和8年度分申請締め切り

【参考】カレッジアキカ・バス利用促進事業の流れ（令和8年度）



移住者・子育て世帯定住推進事業について

1 事業目的

市内に居住する親等との同居は、強力な移住・定住の動機になり得るものであるが、そのためには、住宅環境を整える必要があることから、以下の事業を設ける。

移住者（県外からの移住）又は子育て世帯が親等の直系親族と新たに同居するに当たり、市内にある親等が居住する住宅の改修工事等に対し補助することにより、移住・定住および人口の社会増を促進するものである。

2 事業概要

(1) 補助対象者（ア、イの両方を満たす）

ア 既存住宅を増改築（建替を含む）又はリフォームする方

イ 申請年度内に同居（移住者又は子育て世帯が新たに同居する場合に限る）を開始する方

(2) 補助対象住宅（ア、イの両方を満たす）

ア 同居する世帯のいずれか一方が従前より居住しているもの

イ 同居する構成員のうち、いずれかの名義で所有権保存登記又は所有権移転登記がされてるもの

(3) 補助対象工事（ア、イの両方を満たす）

ア 同居に必要な住宅本体工事

イ 市内に本店、支店又は営業所等を有する建築業者等が施工する工事

3 補助額

補助対象工事費の2分の1の額と次の上限額のうち、いずれか低い金額

(1) 移住者（県外）：上限額1,000千円

(2) 子育て世帯（県外）：上限額1,500千円

(3) 子育て世帯（県内）：上限額 500千円

4 事業費 17,000千円

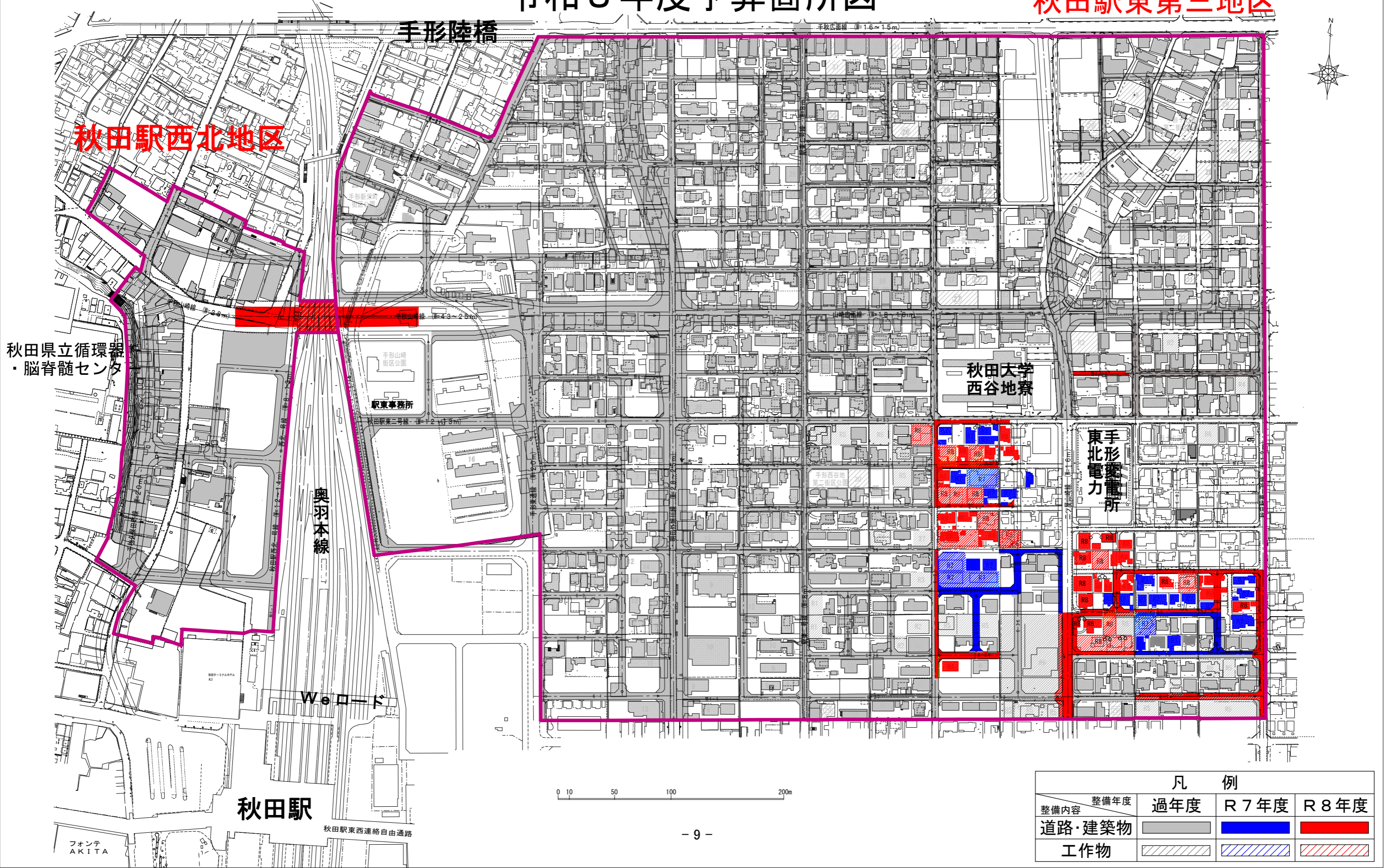
(1) 移住者（県外）：4,000千円（上限額1,000千円×4件）

(2) 子育て世帯（県外）：6,000千円（上限額1,500千円×4件）

(3) 子育て世帯（県内）：7,000千円（上限額 500千円×14件）

秋田駅西北・東第三地区土地区画整理事業 令和8年度予算箇所図

秋田駅東第三地区



		凡 例		
整備年度		過年度	R7年度	R8年度
整備内容	道路・建築物	■	■	■
	工作物	▨	▨	▨

都市計画道路千秋山崎線アプローチ部築造工事について

1 工事概要

都市計画道路千秋山崎線の整備について、令和元年よりJRに委託し施工している線路下ボックス工事が令和8年度に完了することから、引き続きアプローチ部の築造を計画的に行うため、令和12年度までの工事費として継続費を設定しようとするものである。

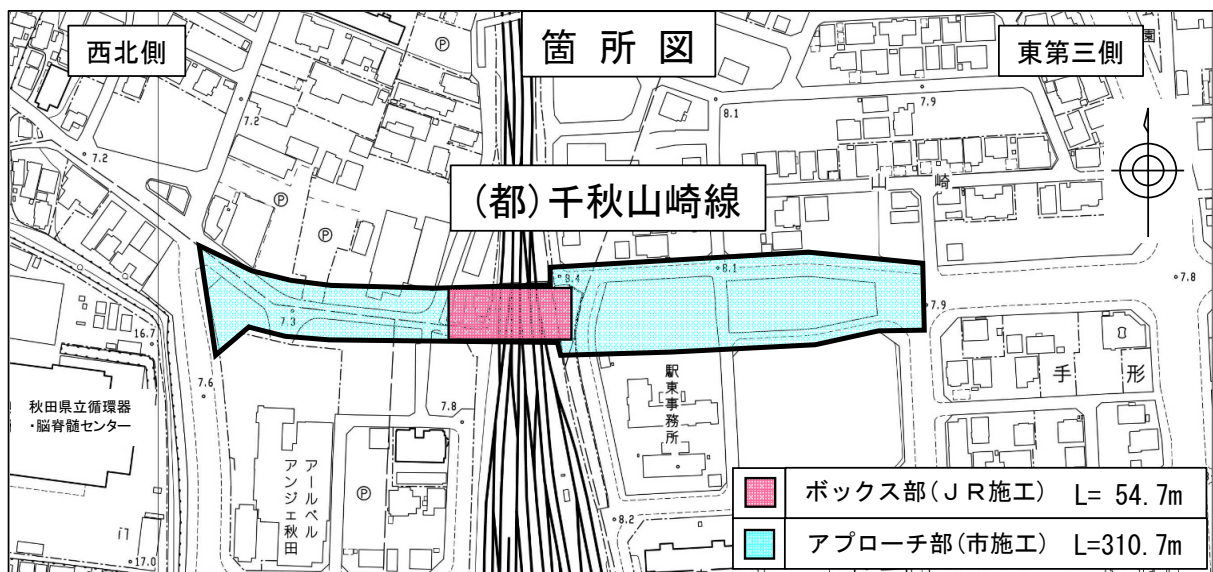
○秋田駅西北地区

施工延長	L =	148.9m
施工幅員	W =	28.0m
擁壁工	L =	110.9m
融雪工	A =	1416.6㎡
舗装工	A =	1701.2㎡

○秋田駅東第三地区

施工延長	L =	161.8m
施工幅員	W =	43.0m
擁壁工	L =	100.1m
融雪工	A =	1644.4㎡
舗装工	A =	2206.5㎡

2 施工箇所



3 工事費

継続費設定工事

都市計画道路千秋山崎線アンダーパス擁壁築造工 2,770,709千円

期間：令和8年度～令和12年度（5年間）

内訳：秋田駅東第三地区 1,481,101千円、秋田駅西北地区 1,289,608千円

※秋田駅東第三地区および秋田駅西北地区を合わせて一括発注予定

4 整備予定

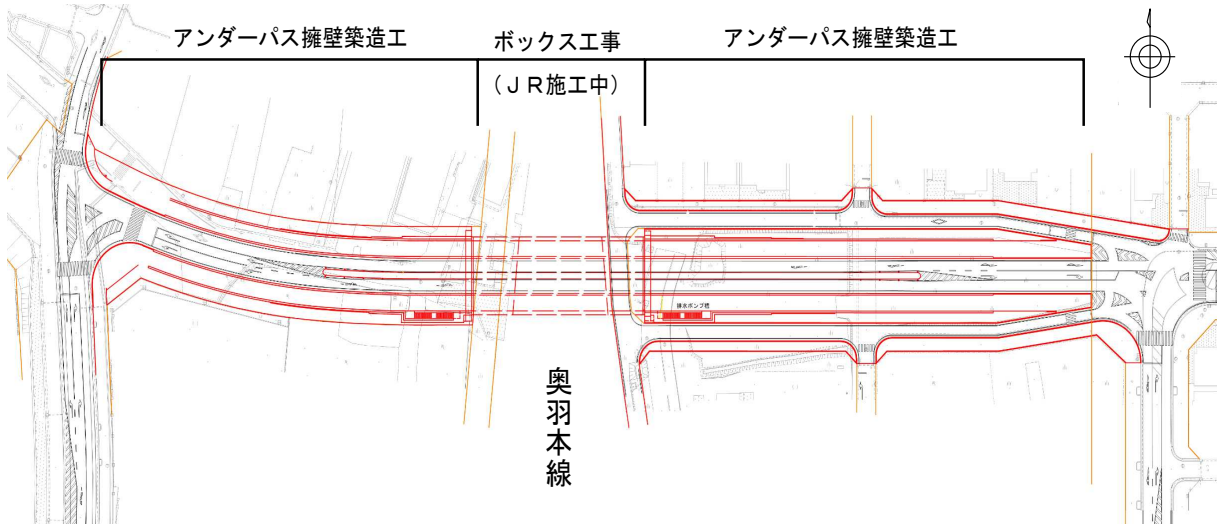
継続費地区別年割額

(単位：千円)

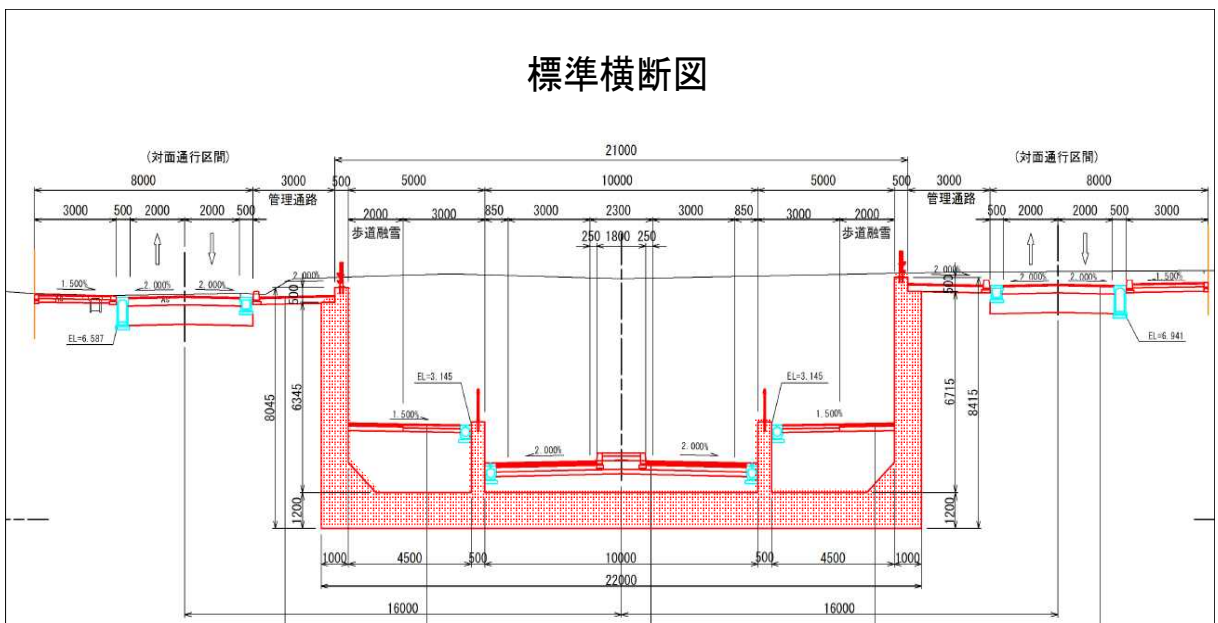
年 度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	合計
市工事（工種）		仮設工 →	躯体工 →		融雪・電気工 → 舗装工 →		
第三地区	171,890	484,446	372,705	328,778	123,282	-	1,481,101
西北地区	122,063	373,631	381,677	299,081	113,156	-	1,289,608
計	293,953	858,077	754,382	627,859	236,438	-	2,770,709

※継続費の設定対象外として、融雪・電気工、舗装工を令和12年度から令和13年度にかけて施工を予定している。

5 平面図等

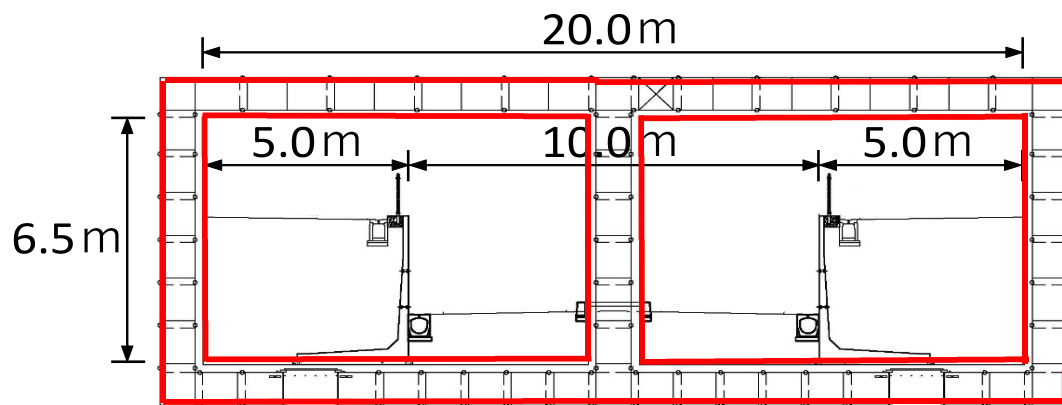


標準横断面図



6 現在の状況（JR施工）

【断面図】



鋼製函体（赤：完了済）



開口部（東第三地区側）



鋼製函体内部（東第三地区側）